

# サイバー攻撃統合分析プラットフォーム WADJET

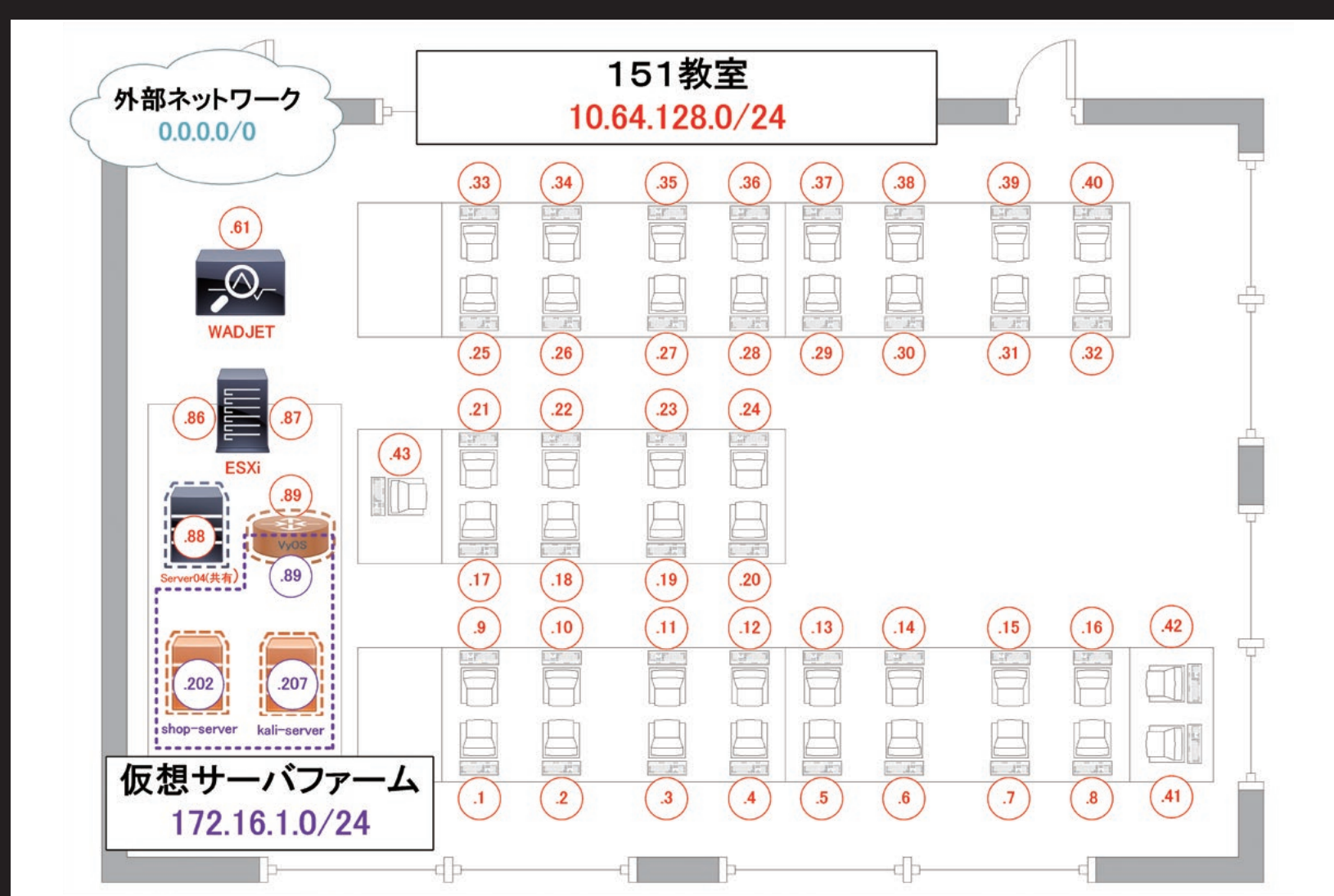
学科 ネットワークセキュリティ科 カテゴリ 産学連携

ネットワークセキュリティ科では、サイバーセキュリティに特化した、サイバー攻撃統合分析プラットフォーム「WADJET」を専門学校ではじめて導入。

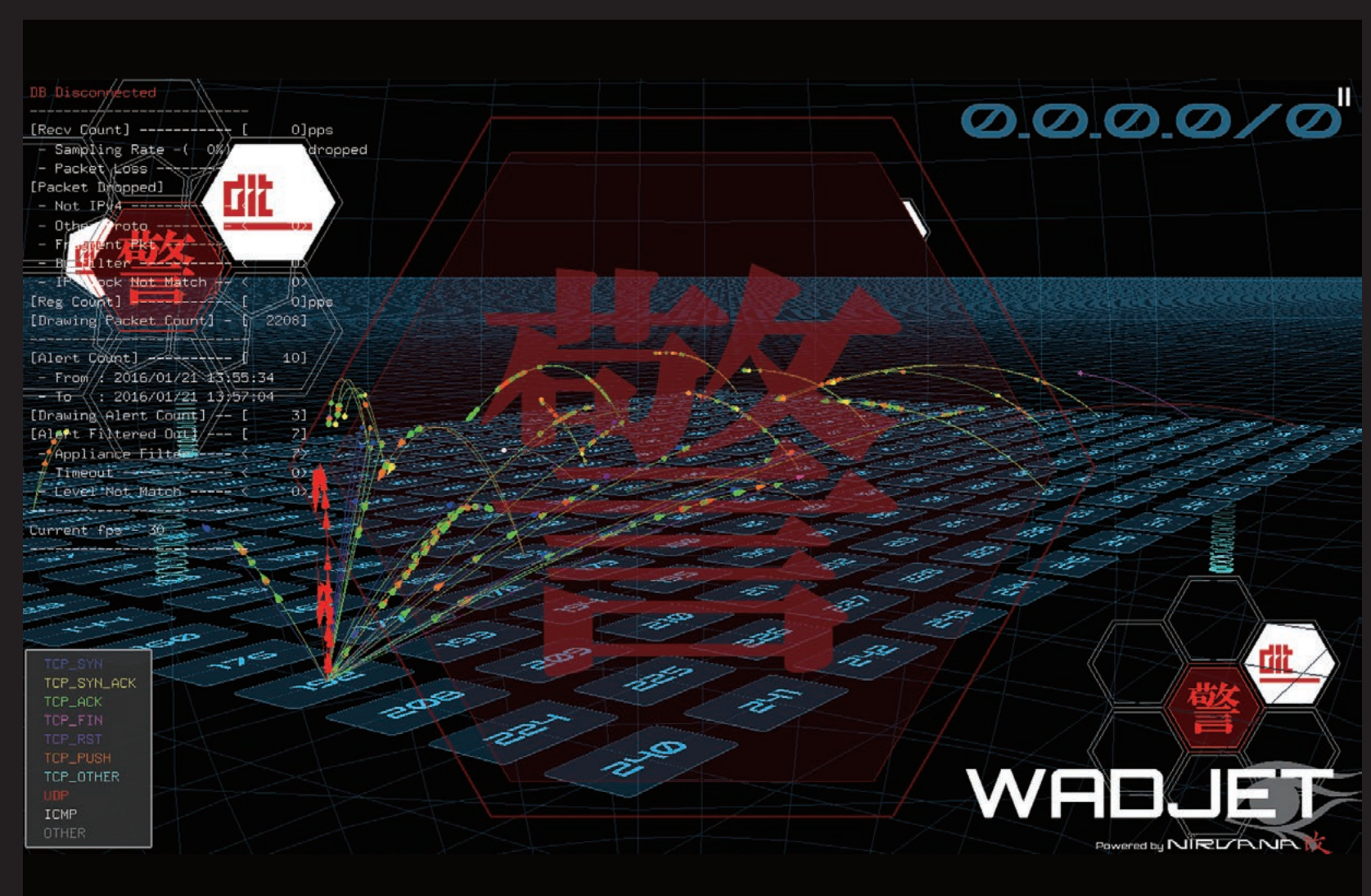
「WADJET」とは、各種セキュリティアプライアンス（ファイアウォールなど）からのアラートを収集して可視化する相関分析システムであり、どのように通信が行われているか、3D空間内にリアルタイムアニメーションで描画する機能なども搭載。インシデント発生時には各種ネットワーク機器を自動的に制御し、異常通信の遮断をする。

「WADJET」が導入された実習室では、セキュリティ監視センターさながら、トラフィックの状況やIPアドレス、アラートなどをリアルタイムに可視化。本来直接見ることのできないネットワークの世界が「見える」ことにより、その仕組みや問題への対処法が明確化され、学生に深い理解を促している。

またサーバセキュリティの学習に於いては、危険性のあるサイトへのアクセスなど、リスクを伴うシーンも発生するが、状況や危険が可視化される「WADJET」により、適切なリスク回避を行える。学生のうちから、より実践に近い状況での経験値を積めるため、セキュリティエンジニアの即戦力として社会で活躍することが可能だ。



仮想サーバファームとクライアントPCで構成され、ネットワーク状況が可視化できる実習室（WADJETが導入された実習室のレイアウト）



セキュリティアプライアンスの種類ごとに表示・非表示の設定が可能で、大きさと回転速度により各種セキュリティアプライアンスからのアラート数や鮮度を視覚的に確認できる